



2024年5月15日

各 位

本社所在地	東京都新宿区西新宿八丁目17番1号
会 社 名	RIZAP グループ株式会社
代 表 者	代表取締役社長 瀬 戸 健
コード番号	2928 札幌証券取引所アンビシャス
問 合 せ 先	取締役 鎌 谷 賢 之
電 話 番 号	03-5337-1337
U R L	https://www.rizapgroup.com/

連結子会社（夢展望株式会社）の業績予想の開示等に関するお知らせ

当社子会社である夢展望株式会社は、本日、「当社個別決算（日本基準）における関係会社株式評価損（特別損失）の計上及び個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」を開示いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

各位

会社名 夢 展 望 株 式 会 社
 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 堀 孝 子
 (コード: 3185 東証グロース市場)
 問合せ先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 今 井 隆 一
 (TEL. 072-761-9293)

当社個別決算（日本基準）における関係会社株式評価損（特別損失）の計上及び 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期の個別決算（日本基準）において特別損失として関係会社株式評価損の計上を行うことといたしました。また、2024年3月期の通期個別業績と前期実績値との差異が生じる見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

1. 個別決算（日本基準）における関係会社株式評価損の計上について

個別決算において、連結子会社であるナラカミーチェジャパン株式会社（以下、「ナラカミーチェジャパン」といいます。）の株式について、財政状態、事業環境や今後の見通し等を勘案した結果、関係会社株式評価損 389 百万円を特別損失として計上いたしました。なお、関係会社株式評価損は、当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、当社連結業績への影響はありません。

2. 2024年3月期個別業績と実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 期 実 績 (A)	1,648 百万円	△25 百万円	△24 百万円	△1 円 71 銭
当 期 実 績 (B)	1,365 百万円	△129 百万円	△521 百万円	△35 円 52 銭
増 減 額 (B - A)	△283 百万円	△104 百万円	△497 百万円	—
増 減 率 (%)	△17.1	—	—	—

※本記載の当期実績は、この開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きが実施中です。
 ※本記載数値情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位切捨て小数点第1位まで記載しております。

3. 差異の理由

(1) ナラカミーチェジャパン個別業績

ナラカミーチェジャパンは、前期からの物流費高騰や円安ユーロ高の進行、輸入元のイタリアからの再値上げに伴う仕入単価の更なる上昇などにより、収益構造が大幅に悪化いたしました。また、夏場は猛暑により年齢層の高いお客様を中心に外出自粛が広がり、春先はいつまでも涼しい日が続いたことなどにより春物の立ち上がりに苦戦するなど、繁忙時期の売上が頭打ちとなったことが更にこれに追い打ちをかけ、大幅減益を余儀なくされました。

その結果ナラカミーチェジャパンの純資産は大幅に減少することとなり、当社は関係会社株式評価損 389 百万円を特別損失として計上するに至りました。

2024 年 4 月以降はイタリアとの契約を大幅に見直した結果、マーケットの需要に合わせて仕入数量・仕入先・仕入タイミングをナラカミーチェジャパンがコントロールできるようになりましたので、今後収益構造は改善する見込みです。

(2) 当社個別業績

当社は、引き続き販売価格の見直しやキャリア品の計画的消化、仕入の適正化などを進め、収益構造の改善を徹底し、下期には大ヒットした人気ゲームとのコラボ商品の販売や、量産地雷とロリータを融合した画期的な新ブランドの立ち上げなどにより着実に売上を積み上げました。しかしながら一方で、不採算店舗の縮小の過程で、その減収分を自社サイトなどの主力強化店舗での増収分でカバーすることが出来なかったことに加え、今期は期初からの主要ブランドの不振傾向が重なり、又、秋口以降長期間にわたり続いた気温の高止まりにより秋冬物商品の販売が全般的に伸び悩むなど、1 年を通して減収傾向が続いたことなどから、営業利益以下の各利益についても前期比減益となりました。

以上のとおり、当社の業績不振に加え、ナラカミーチェジャパンの業績不振に伴う関係会社株式評価損 389 百万円の計上も重なり、上表 2. のとおり、当社個別業績において経常利益及び当期純利益が前期実績を下回る結果となりました。

以 上